

ウッドショック：その現状と展望

【ZOOM オンライン開催】

2021年6月にウッドショックに関する月例研究会を緊急開催しました。当時は、木材製品の不足感は全体的に非常に高まっていたのですが、価格高騰については輸入材で顕著になっていた一方、国産材では影響が出始めたといった状況でした。現在では、不足感については少し緩和された印象がありますが、価格については輸入材、国産材ともに高水準をキープしています。

12月の月例研究会では、再びウッドショックを取りあげ、6月の研究会以降の動向や今後の見通しなどについて情報提供とディスカッションを行いたいと考えています。

内容については、前回に引き続き、①農林中金総合研究所の安藤範親氏、多田忠義氏から、ウッドショックのその後の動向について、また国内における木材流通の実情に詳しい②ノースジャパン素材流通協同組合理事長の鈴木信哉氏から、ウッドショックの実態と今後の見通しについて、ご講演いただきます。講演に引き続き、講演者および参加者の間で③総合討論を行います。

多くの皆さまの参加をお待ちしております。

日時：2021年12月9日（木）17:00～19:00

内容：①「ウッドショックのその後の動向」

安藤範親氏、多田忠義氏（農林中金総合研究所）

②「ウッドショックの実態と今後の見通し」

鈴木信哉氏（ノースジャパン素材流通協同組合 理事長）

③総合討論

モデレーター 幡建樹氏（東京大学）

□会場：ZOOMを利用したWeb会議形式

※当日のログイン情報については、お申込み頂いた後にお知らせいたします。

□主催：木材利用システム研究会

□参加費：会員：無料、非会員：3,000円

□申込期限：2021年12月7日（火）

□申込方法：当研究会ホームページからお申込下さい。（<https://www.woodforum.jp/>）

□その他：ZOOMの操作方法マニュアルを別途送付いたします。
お問い合わせはメールにてお願いします。

木材利用システム研究会事務局：（長坂、幡、知念）
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7号館B棟439室
東京大学環境材料設計学研究室内
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.jp